

令和5年度 第2回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月16日（金） 13時から14時15分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 本多 靖明、石川 公子、名倉 久純、藤本 桂、鈴木 仁、杉浦 猛弘
山田 佳敬
- 4 欠席委員 永田 真也
- 5 学校支援コーディネーター 鈴木 恭子、花島 佳子
- 6 学 校 中村 竜久（校長）、杉山 友里（教頭）、高林 秀仁（教務主任）
波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 協議事項 (1) 特色ある学校づくり ～学校支援の在り方について～
 - ① PTA学級支援部 が主体 （各学年保護者ボランティアが必要な活動）
 - 1年 生活科 「あさがおリースづくり」
 - 2年 生活科 「町探検」
 - 3年 総合的な学習 「船越を知る」
 - 4年 総合的な学習 「UD」
 - 5年 家庭科 ミシン
 - 6年 校外学習 「家康の散歩道」発達 カレーパーティー
 - ② 学校支援コーディネーター が主体
(学年保護者では対応できないと予想される活動)
 - ・クラブ活動 講師
 - ・6年 社会科 「戦争体験」
 - ・6年 音楽 「雅楽」
 - ・花壇
- 9 会議記録作成者 CSディレクター 波多野 祐子
- 10 会議記録

司会の高林（教務主任）から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 特色ある学校づくりについて、校長より提案があった。

- ・本校は、PTA 活動が盛んであるので、校長先生の提案でよいと思う。
- ・今までPTA 学級支援部が中心となって、学年ボランティアを行ってくれたので、8(1)①のように、今後も継続していく。それでは対応できないと予想される8(1)②については、CS が中心となるようにしたらどうか。
- 8②において、どんなサポートが考えられるか、考えていきたい。

(杉浦委員)

- ・既存のPTA の支援は、生かしていけばよい。それではまかなえない支援について、学校運営協議会が受け請っていけばよい。

- ・「戦争体験」については、浜松市復興記念館、人づくりセンター等に問い合わせ、申し込めば、DVD 視聴など可能である。

(山田委員)

- ・八幡宮の宮司にお願いすれば、浜松市の歴史についての話の中で、空襲の話もしてくれるのではないかと。雅楽についてもお願いできると思う。
(本多委員)
- ・前回、花壇について補助申請を考えていたが、学校に使用できる花壇が少ないので、草取り隊ボランティアなどのお手伝いボランティアの組織作りから始めたらどうか。
(本多委員)
- ・わたしの町自慢などを、自治会主体で開くのはどうか。
(本多委員)
- ・花壇のお手伝いは、環境委員会と一緒に、お手伝いからはどうか。
(杉浦委員)
- ・夏休みの花への水やりを、学校運営協議会の委員に協力してもらうのを、今年度から始めてはどうか。
(藤本委員)
- ・地域の人達から、何かお手伝い出来ないか、という声がある。
(本多委員)
- ・クラブ活動のお手伝いとして、将棋、イラスト、よさこい、茶道、華道、サッカー、ソフト、ヨガ、英会話、近隣高校、大学の学生に来てもらう等出来るのではないかと。
(山田委員、石川委員、花島コーディネーター)
- ・今年出来そうな事として、秋に雅楽（予定）を6年生に、12月位に戦争体験の話を行いたい。クラブ活動については来年度に向けて、いろいろ模索していく。
(山田委員)

11 報告（校長より）

ベルマーク集計をこれからも存続していくかについて、委員の意見をお伺いした。

- ・初めは個人の有志で始めた。テトラパックは今も集めているが、継続が難しく、子供の学びになっていないなら、やめてもいいのでは、という意見が多数であった。

その他報告事項等

- ・司会から、次回会議は、令和5年10月4日（水）10時30分から11時50分、会議室で開催する旨の報告があった。